

## 防災協力に関する日中韓三国間の共同声明（仮訳）

2022 年 7 月 14 日

我々、日中韓防災担当閣僚は、2022 年 7 月 14 日、ビデオ会議形式にて第 7 回日中韓防災担当閣僚級会合に参加した。

我々は、三か国のみならず全世界において、台風、洪水、地震、地滑りを含めた自然災害や大規模事故、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって尊い命が失われ、甚大な被害を受けたことについて、深い哀悼の意を表した。

我々三か国は、地震、台風、洪水といった、より頻繁で壊滅的な自然災害を経験していることから、地理的に近接した三か国間の防災協力の重要性和意義について再確認した。また、持続可能な開発及び人命保護を最優先事項として目指すことを呼びかけた。

我々は、第 6 回日中韓防災担当閣僚級会合の成果を振り返るとともに、三か国における近年の災害及びその対策、並びに防災に向けた効果的かつ実践的な対策の進展を共有した。

防災政策を共有することにより、三か国の防災能力を向上させることを目的として、我々は以下の分野で三か国間の協力を積極的に促進することを決定した。

1. 仙台防災枠組 2015－2030 の中間レビューが 2023 年に予定されていることを踏まえ、同枠組を着実に推進する。災害の予防、緩和、準備、対応、復旧・復興に関する能力を強化するとともに、仙台防災枠組に記載されている「より良い復興」の実施について、三か国間で情報と経験の共有を促進する。また、同枠組の優先行動に沿ったグローバルターゲット達成とその進捗の確認のため、今後の具体的な行動目標、インプットの増加、施策の改善について、コミュニケーションを強化する。

2. 気候変動により自然災害が激甚化・頻発化していることを踏まえ、災害リスク予防・削減のための構造物（ハード）及び非構造物（ソフト）による対策並びに早期警報システムの推進や、迅速かつ効果的な避難を確保、被災者の基本的な生活ニーズを満たすための啓発や災害応急対策を強化等、様々な自然災害に対応するための能力を強化する。

3. アジア防災センター（ADRC）、中国国家防災センター（NDRCC）、国際防災教育研修所（GETI）を含め、三か国に存在する国際的・地域的な教育訓練機関に十分な役割を果たさせ、防災及びリスク削減における能力開発などの訓練に関する三国間協力を実施する。

我々は、防災における協力を推進するための日中韓三国協力事務局（TCS）の尽力を評価する。我々は、共同声明のフォローアップに、同事務局を可能な限り関与させることとする。ホスト国は、次回会合まで、当会合にて決定された議題のフォローアップ手続きについて責任を負う。

我々は、隔年開催の原則に基づき、第8回日中韓防災担当閣僚級会合を中国のホストで開催することで合意に至った。我々は、2022年7月14日、ビデオ会議において、英語表記の共同声明を確認した。